

旭区教育等関係事業一覧(令和6年度)

	対象	令和6年度				令和7年度 方向性
		事業名	予算 (千円)	事業概要	実施状況(R6.10末時点)と今後の予定	
①	小学生	学力アップアシスト事業	3,665	小学校児童の学力向上のため、放課後の空き教室を活用するなど、指導員を配置し、学習を支援する。	5小学校で実施中 計170回、延べ出席者数2,790人	継続
②	中学生	旭ベーシックサポート事業	1,842	放課後の空き教室を活用して、学習支援員による宿題・復習サポートを実施し、学習習慣定着、基礎学力向上を図る。	2中学校で実施中 計108回、延べ出席者数825人	継続
③		民間事業者を活用した課外授業「旭塾」	124	学習習慣の定着・学力アップを目的として、民間事業者との協定により塾代助成制度を活用して実施する。	全4中学校で実施中 計228回、登録者数63人	継続
④	小学生	運動能力等向上サポート事業	1,489	専門的な経験や技術を持つ専門家を学校に派遣し、児童の運動能力向上並びに教員の指導力向上に資する授業を実施する。	6小学校で実施 計9回(走り方3回、ダンス1回、水泳1回、ボール投げ2回、跳び箱1回) 11月以降に残りの4校を含む9校において17回実施予定 (ダンス5回、跳び箱4回、なわとび4回、サッカー4回)	継続
⑤	中学生			専門的な経験・技術を持つダンスのインストラクターを派遣することで、指導の充実を図るとともに、生徒のスポーツに対する興味、関心、意欲を高め、楽しんで運動できることを実感させる機会を提供する。	全4中学校で3学期に実施予定	
⑥	小学生	プログラミング体験学習事業	2,348	プログラミングに関する専門的な知識や技術を持つ区内の大学教員が、小学校の理科の授業及び中学校の技術の授業でプログラミング体験学習を実施する。また、各学校で授業を実施する際には、教材の貸し出し等の支援を行う。	大阪工業大学の教員による専門教材を使用した理科の授業の実施(6月～) 5小学校の6年生12クラスで実施、参加児童数353名 11月以降に残りの5校11クラスで実施予定	継続
⑦	中学生				・全4中学校で12月以降に実施予定 (学習の目的を意識しつつ、大学教員の専門性を生かした、教科の内容のみに特化しないより幅広いプログラミングの授業) ・教材となるアーテックロボを11月以降に2中学校に貸出予定	
⑧	中学生	体験教室	0	中学校のニーズに合わせて、旭区役所保健子育て課の専門職職員が「命、健康、福祉」をテーマに課外授業を行う。 また、子育て体験学習の教材としてAI人形の貸し出しを行う。	未実施	廃止
⑨		旭区防災教育事業 ⇒【資料2】	705	中学生の防災意識の向上や地域の防災力の向上、担い手の育成を目的として、防災教育プログラムに基づく防災教育等を実施する。	全4中学校で実施(うち3校は実施済)	継続
⑩	中学生 高校生	あさひ育み学び舎事業	6,870	経済的な要因等による生活環境の問題により、学習環境や生活習慣が十分でない中・高生に対し、安心できる環境(居場所)において知識や教養、生活力を身につけ、自ら進路選択できるよう、個別に支援計画を策定し、学習支援、自立支援、相談や居場所にかかる支援を行う。	登録者数33人 内訳:中学生16名、高校生17名	継続
⑪	18歳未満	こども食堂ネットワーク事業	1,046	こどもの居場所となるこども食堂に対し、学習や生活習慣の定着を支援するボランティアを派遣する。また、運営資金やフードバンク、食材提供等の情報共有や行事や活動の周知など、こども食堂の運営を後方支援する。	・こども食堂ネットワークには20ヶ所が加入(全小学校区で開設)しており、ネットワーク会議を2回(4月、6月)実施(今後2回実施予定) ・学習支援については、5ヶ所で実施 ・区内にあるファミリーマート16ヶ所のうち、11ヶ所でフードドライブのボックスを設置、協力事業者として3ヶ所のこども食堂が参画	拡充
⑫	地域住民	小学校区教育協議会ーはぐくみネットー	1,203	学校・家庭・地域が一体となって「教育コミュニティ」づくりをすすめるため、学校と地域が連携した事業や地域の人材を教育資源として活用する事業等を実施する。	各小学校区教育協議会ーはぐくみネットーに事業を委託し、実施中	継続
⑬		生涯学習ルーム事業	1,006	小学校の特別教室等を活用し、地域住民の自主的な文化・学習活動や交流活動の場の提供や、身近な講座等の開催を通じたコミュニティづくりをすすめる。	各小学校生涯学習ルーム運営委員会に事業を委託し、実施中	継続
⑭		学校体育施設開放事業	1,121	小学校及び中学校の体育施設を地域に開放し、地域住民に継続的にスポーツ活動の場や機会を提供するとともに、地域住民による自主的、主体的な運営や活動の推進を図る。	各学校体育施設開放事業運営委員会に事業を委託し、実施中	継続

区シティ・マネージャー自由経費予算事業

⑮	(幼稚園児) 小学生 中学生	こどもサポートネット事業	9,634	小・中学校におけるスクリーニングにより福祉課題を有する児童・生徒を発見し、区役所に配置された「こどもサポート推進員」及び「スクールソーシャルワーカー」が中心となり、区役所と学校が連携しながら、制度や社会資源など適切な支援につなぐことにより課題の解決を図る。	全10小学校で実施 各学校で学期ごとに1回、スクリーニング会議Ⅱを開催 全4中学校で実施 各学校で学期ごとに1回、スクリーニング会議Ⅱを開催	継続
⑯	小学生 中学生	スクールカウンセラー事業	11,217	いじめや不登校等のこどもの問題行動等の未然防止や早期発見のため、区内の小中学校にスクールカウンセラーの配置及び派遣を行う。	全10小学校に5名配置 ※1名あたり 週1回6時間 全4中学校に4名配置 ※1名あたり 週1回6時間	継続